

〈報告〉

平成20年度学生による授業評価に関する報告

専修大学経営学部
自己点検・評価実施委員会

まえがき

平成20年度の「学生による授業評価」について、その実施状況および実施した教員と回答した学生に関する全体的概要を報告する。ご協力いただいた学部内外の教員各位に感謝申し上げます。また、準備から分析結果の配布にいたる作業をご担当いただいた教務課職員各位にも、お礼を申し上げます。

平成19年度から経営学部経営学科の専門科目のカリキュラムが新しくなった。新しいカリキュラムの初年度は、必修科目である入門科目を学生による授業評価の主な対象とした。平成20年度は、2年次以降の選択必修科目であるテーマ科目が始まり、テーマ科目としての最初の授業評価が行われた。

平成19年度は予算の制約から、英語と半期化された新しいカリキュラムの入門科目について前期に授業評価を実施し、その結果を後期に役立てることができるよう計画した。また、後期には、主に基礎演習科目と平成18年度までの専門科目（多くは通年）の授業評価を実施した。平成20年度は予算が増額されたことと、費用の見直しを業者に依頼したことにより、前期と後期それぞれで、新しいカリキュラムの専門科目の授業評価を実施することができた。

実施の詳細については、本報告の「授業評価の実施」をご覧ください。

平成21年 8月

平成20年度経営学部自己点検・評価実施委員会
宇佐美嘉弘（委員長）、青木章通（副委員長）、植松日子太郎、
倉持俊弥、佐藤康一郎、増子恵一、山田耕嗣

1. 授業評価の目的

学生による授業評価の目的は、受講した学生の評価・意見に基づいて、授業の改善点を模索することにある。学生の要求・学力と授業内容を照応させること、もしくは授業方法により一層の工夫を凝らすことなどの作業は、避けて通ることのできない問題である。

ところで、学生の評価に無原則に従従することがあってはならないことも、もとより自明である。しかし、学生による授業評価が、授業改善に役立つデータであることもまた否定できない事実であり、我われ教員の主体的な取り組みが問われている。

ただし、平成7年度に、初めて授業評価を実施した際の教授会申し合わせ事項、「教員の勤務評定には絶対に利用しない」ことにも留意する必要がある。

2. 授業評価調査票の内容

平成20年度の授業評価調査票では、平成18年度および平成19年度と同じ質問項目で、マーク形式の調査票と自由記述形式の調査票を用いた。マーク形式の調査票については、すべて5段階評価による25の質問項目を次の4つの群に分けている。

- A. 授業の環境・方法について (記入欄1～13)
- B. 授業の内容について (記入欄14～18)
- C. あなたについて (記入欄19～24)
- D. 総合評価について (A～Cを踏まえて) (記入欄25)

また、自由記述形式の調査票での質問は次の通りである。

この授業について、良かったと思う点や改善を求めたいと思う点を、施設・設備面についての評価も含め、具体的に書いてください。

回収した自由記述の回答内容は、当該科目の担当者のみが参照し、その概要報告を自由記述教員アンケートとして当委員会委員長が受ける。アンケートの内容は次の通りである。

- 一、記述評価で先生の授業について「良かった」と評価された点はどんな点だったでしょうか。
- 二、自由記述評価で先生の授業について「改善した方がいい」と評価された点はどんな点だったでしょうか。
- 三、以上の結果をどのように受け止め、どのように授業を進めたらよいと思われますか。
- 四、自由記述評価のなかで、施設・設備面に関する学生の要望があがっている点はどんな点でしょうか。

自由記述形式の調査票および自由記述教員アンケートは、平成17年度の委員会が定めたものである。

3. 授業評価の実施

平成19年度の入学者から、経営学部のカリキュラムが変更され、専門科目の講義は前期・後期それぞれで終了することになった。そこで、平成20年度は授業評価を以下のように実施した。

1. 委員会として実施を求める指定科目について、担当者に実施を依頼した。ただし、担当者が実施を希望しない場合には、科目名を委員会に申し出る。

指定科目：平成19年度および平成20年度カリキュラムの専門科目（入門ゼミナール、ビジネス研究D／インターンシップ、自主活動報告は除く）およびスポーツ・ウェルネス・プログラム（SWP）科目

※ 平成19年度からのカリキュラムの科目の授業評価を実施する場合に、

それと合併されている平成18年度までのカリキュラムの科目があれば、それらの科目も実施することにした。

※ SWP科目は、後期になってSWP実施委員会において実施しないことが決定された。

2. 指定科目以外の科目については、担当者が授業評価を希望する場合には、科目名と希望実施時期（前期のみ、後期のみ）を委員会に申し出る。
 実施可能な科目：経営学部専任教員が担当しており経営学部に配当されている科目および兼任教員が担当している経営学部専門科目
 実施しない科目：他学部のみ配当科目、インターンシップ、ゼミナール、卒業論文、教養ゼミナール、教養演習、総合科目、教育実習、博物館実習
3. 授業評価の実施を指定科目で希望しない科目（上記の1）および指定科目以外で希望する科目（上記の2）を委員会に申し出てもらうため、アンケートを事前に行った（平成20年6月）。
4. 授業評価を実施した時期は次の通り。
 前期は平成20年7月上旬、後期は平成20年12月上旬
5. 教員への個別の集計結果を返却した時期は次の通り。
 前期分の返却は平成20年度後期開始直後、後期分の返却は平成21年3月～4月

4. 授業評価実施教員および回答者の概要

平成19年度の表に基づいて、実施状況をまとめた。実施状況のまとめ方の方針と注意事項は以下の通り。

1. 前期（表1）、後期（表2）、前後期合計（表3）の3つの表を作成した。さらに、従来通り、回答した学生数については、学部大学院別（表4）、学部学科別（表5）、学年別（表6）、性別（表7）の内訳も示した。これらの表では、いずれも平成20年度の概要のみを示し、過去の推移は外した。これは、実施する授業を指定した方針が以前と異なるため、

表1. 科目区分ごとの授業評価実施状況 前期

科目区分		教員(専任、兼任)		大学専任教員				学部専任教員				学生					
		数	実施	割合	数	実施	割合	数	実施	割合	数	実施	割合				
平成19年度からのカリキュラムの専門科目	入門【指定】	経営 ※オムニバス形式	5	3	60.0%	5	3	60.0%	5	3	60.0%	8	5	62.5%	838	500	59.7%
		会計	5	4	80.0%	5	4	80.0%	5	4	80.0%	5	4	80.0%	850	335	39.4%
		経済	4	2	50.0%	4	2	50.0%	4	2	50.0%	4	2	50.0%	1000	258	25.8%
		マーケティング	4	3	75.0%	4	3	75.0%	4	3	75.0%	5	3	60.0%	808	347	42.9%
		情報処理、情報システム	9	8	88.9%	4	3	75.0%	4	3	75.0%	20	17	85.0%	1314	890	67.7%
		統計	3	3	100.0%	3	3	100.0%	2	2	100.0%	5	5	100.0%	421	336	79.8%
	基礎演習【指定】	簿記	1	1	100.0%	0	0	-	0	0	-	1	1	100.0%	6	5	83.3%
		情報リテラシ	2	1	50.0%	2	1	50.0%	2	1	50.0%	2	1	50.0%	47	25	53.2%
	経営管理総論【指定】		4	3	75.0%	4	3	75.0%	4	3	75.0%	5	4	80.0%	702	376	53.6%
	テーマ【指定】	企業と市場・社会	3	2	66.7%	2	1	50.0%	1	0	0.0%	3	2	66.7%	126	65	51.6%
		ベンチャー創造と事業継承	2	0	0.0%	2	0	0.0%	2	0	0.0%	2	0	0.0%	692	0	0.0%
		戦略デザイン	1	1	100.0%	0	0	-	0	0	-	1	1	100.0%	82	60	73.2%
		グローバル・マネジメント	2	1	50.0%	1	0	0.0%	1	0	0.0%	2	1	50.0%	221	18	8.1%
		企業評価とファイナンス	1	1	100.0%	1	1	100.0%	1	1	100.0%	1	1	100.0%	61	32	52.5%
		企業活動と会計情報	4	4	100.0%	3	3	100.0%	3	3	100.0%	4	4	100.0%	388	229	59.0%
		顧客満足とマーケティング	2	2	100.0%	2	2	100.0%	2	2	100.0%	4	4	100.0%	1151	615	53.4%
		ビジネス・ソリューション	2	2	100.0%	2	2	100.0%	2	2	100.0%	2	2	100.0%	134	111	82.8%
		人的資源と知識創造	2	2	100.0%	2	2	100.0%	2	2	100.0%	2	2	100.0%	187	144	77.0%
		I T プロフェッショナル	3	3	100.0%	3	3	100.0%	3	3	100.0%	4	4	100.0%	139	112	80.6%
		寄付講座、特殊講義【新旧合併】			3			2			2			3			
外国書講読【なし】																	
スポーツ・ウェルネス・プログラム(SWP)			4			4			2			4				273	
平成18年度までのカリキュラムの専門科目【希望実施】	系列別	経営	4			3			3			6			274(20)		
		会計	4			3			3			4			54(5)		
		経済	3			2			2			3			42(4)		
		経営学	4			3			3			8			218(21)		
		情報管理	4			3			3			6			36(4)		
		外国書講読、共通科目	2			1			0			2			17(3)		
教養教育【希望実施】			9			4			3			15			492		
英語【希望実施】																	
英語以外の外国語【希望実施】																	
保健体育(理論科目)【希望実施】			1			1			1			2			181		
教職、司書・司書教諭、学芸員課程【希望実施】																	
指定した科目区分のみの合計		59	46	78.0%	49	36	73.5%	47	34	72.3%	80	63	78.8%	9167	4458	48.6%	
全体の実施合計			84			62			56			116			6326(57)		

注1. 【指定】は、委員会が実施対象として指定した科目区分を示す。【希望実施】は、指定ではないが、教員の希望で実施を認めた科目区分を示す。【なし】は、授業が展開されていない科目区分を示す。

注2. 【指定】のみの科目区分の教員の「数」は指定した数を示す。授業の「数」は同じ科目で複数展開している場合には、展開数を数えた。学生の「数」は指定した授業に履修登録している学生の総数を示す。

注3. 【指定】のみの科目区分については、指定した数に対して実施した割合が分かるようにした。その他の科目区分については実施した数のみを示した。

注4. 専門科目で平成18年度までの科目と平成19年度からの科目が合併開講されている場合には、1つの授業が平成18年度までと平成19年度からの2箇所で数えられる。英語は平成18年度から、英語以外の外国語は平成17年度からカリキュラムが変更されており、変更前後の科目が合併されている場合には、2つの授業として数えられる。

注5. 平成18年度までの専門科目の「共通科目」に含まれるのは、経済英語、経営法学、商法Ⅰ、商法Ⅱ、労働法、民法、特殊講義である。

注6. 平成18年度からの寄付講座、特殊講義は、平成19年度までの科目と合併されているが、分けて回収できなかったため、まとめて1科目としてある。

注7. SWPは前期は指定として実施したが、後期にSWP運営委員会で実施しないとの決定がなされたため、希望実施となった。

注8. 専門科目で平成18年度までの科目と平成19年度からの科目が合併開講されている場合に、科目コードの記入がなく、どちらの科目か判別できない枚数は平成18年度までの科目として、その枚数を実施の内訳として()内に示した。

表2. 科目区分ごとの授業評価実施状況 後期

科目区分			教員 (専任、兼任)			大学専任教員			学部専任教員			授業			学生		
			数	実施	割合	数	実施	割合	数	実施	割合	数	実施	割合	数	実施	割合
平成19年度からのカリキュラムの専門科目	入門【指定】	経営 ※オムニバス形式	5	4	80.0%	5	4	80.0%	5	4	80.0%	8	7	87.5%	850	590	69.4%
		会計	5	5	100.0%	5	5	100.0%	5	5	100.0%	5	5	100.0%	957	384	40.1%
		経済	4	3	75.0%	4	3	75.0%	4	3	75.0%	4	3	75.0%	892	343	38.5%
		マーケティング	4	3	75.0%	4	3	75.0%	4	3	75.0%	5	4	80.0%	818	396	48.4%
		情報処理、情報システム	3	2	66.7%	2	1	50.0%	2	1	50.0%	4	3	75.0%	361	155	42.9%
		統計	3	3	100.0%	3	3	100.0%	2	2	100.0%	5	5	100.0%	420	222	52.9%
	基礎演習【指定】	簿記	9	7	77.8%	5	3	60.0%	5	3	60.0%	12	10	83.3%	416	263	63.2%
		情報リテラシ	9	8	88.9%	5	4	80.0%	5	4	80.0%	16	14	87.5%	754	507	67.2%
		経営数学	2	1	50.0%	2	1	50.0%	2	1	50.0%	2	1	50.0%	41	20	48.8%
		論理	3	2	66.7%	3	2	66.7%	3	2	66.7%	3	2	66.7%	40	20	50.0%
	経営管理総論【指定】		4	4	100.0%	4	4	100.0%	4	4	100.0%	5	5	100.0%	702	480	68.4%
	テーマ【指定】	企業と市場・社会	2	2	100.0%	1	1	100.0%	0	0	-	2	2	100.0%	97	61	62.9%
		ベンチャー創造と事業継承	2	2	100.0%	2	2	100.0%	2	2	100.0%	2	2	100.0%	698	362	51.9%
		戦略デザイン	1	1	100.0%	0	0	-	0	0	-	1	1	100.0%	78	51	65.4%
		グローバル・マネジメント	2	1	50.0%	1	0	0.0%	1	0	0.0%	2	1	50.0%	220	22	10.0%
		企業評価とファイナンス	1	1	100.0%	1	1	100.0%	1	1	100.0%	1	1	100.0%	61	32	52.5%
企業活動と会計情報		1	1	100.0%	1	1	100.0%	1	1	100.0%	1	1	100.0%	153	66	43.1%	
顧客満足とマーケティング		2	2	100.0%	2	2	100.0%	2	2	100.0%	4	3	75.0%	1151	446	38.7%	
ビジネス・ソリューション		2	2	100.0%	2	2	100.0%	2	2	100.0%	2	2	100.0%	134	91	67.9%	
人的資源と知識創造		2	2	100.0%	2	2	100.0%	2	2	100.0%	2	2	100.0%	187	114	61.0%	
I Tプロフェッショナル		2	2	100.0%	2	2	100.0%	2	2	100.0%	3	3	100.0%	109	83	76.1%	
寄付講座、特殊講義【新旧合併】		2			2			2			2					106	
外国書講読【なし】																	
スポーツ・ウェルネス・プログラム (SWP)			2			2			1			2					108
平成18年度までのカリキュラムの専門科目【希望実施】	系列別	経営		11		8			8			17					685
		会計		2		2			2			2					33
		経済		2		2			2			2					65
		商学		6		4			4			10					410
		情報管理		6		3			3			8					90
		外国書講読、共通科目		2		1			1			2					22
教養教育【希望実施】		2		2			2			3						117	
英語【希望実施】		7		2			1			10						274	
英語以外の外国語【希望実施】																	
保健体育 (理論科目)【希望実施】																	
教職、司書・司書教諭、学芸員課程【希望実施】																	
指定した科目区分のみの合計		68	58	85.3%	56	46	82.1%	54	44	81.5%	89	77	86.5%	9139	4708	51.5%	
全体の実施合計			100			74			70			136				6618	

表3. 科目区分ごとの授業評価実施状況 前後期合計

科目区分			教員 (専任、兼任)			大学専任教員			学部専任教員			授業		学生			
			数	実施	割合	数	実施	割合	数	実施	割合	数	割合	数	割合		
平成19年度からのカリキュラムの専門科目	入門【指定】	経営 ※オムニバス形式	10	7	70.0%	10	7	70.0%	10	7	70.0%	16	12	75.0%	1688	1090	64.6%
		会計	10	9	90.0%	10	9	90.0%	10	9	90.0%	10	9	90.0%	1807	719	39.8%
		経済	8	5	62.5%	8	5	62.5%	8	5	62.5%	8	5	62.5%	1892	601	31.8%
		マーケティング	8	6	75.0%	8	6	75.0%	8	6	75.0%	10	7	70.0%	1626	743	45.7%
		情報処理、情報システム	12	10	83.3%	6	4	66.7%	6	4	66.7%	24	20	83.3%	1675	1045	62.4%
		統計	6	6	100.0%	6	6	100.0%	4	4	100.0%	10	10	100.0%	841	558	66.3%
	基礎演習【指定】	簿記	9	7	77.8%	5	3	60.0%	5	3	60.0%	12	10	83.3%	416	263	63.2%
		情報リテラシ	10	9	90.0%	5	4	80.0%	5	4	80.0%	17	15	88.2%	760	512	67.4%
		経営数学	4	2	50.0%	4	2	50.0%	4	2	50.0%	4	2	50.0%	88	45	51.1%
		論理	3	2	66.7%	3	2	66.7%	3	2	66.7%	3	2	66.7%	40	20	50.0%
	経営管理総論【指定】		8	7	87.5%	8	7	87.5%	8	7	87.5%	10	9	90.0%	1404	856	61.0%
	テーマ【指定】	企業と市場・社会	5	4	80.0%	3	2	66.7%	1	0	0.0%	5	4	80.0%	223	126	56.5%
		ベンチャー創造と事業継承	4	2	50.0%	4	2	50.0%	4	2	50.0%	4	2	50.0%	1390	362	26.0%
		戦略デザイン	2	2	100.0%	0	0	-	0	0	-	2	2	100.0%	160	111	69.4%
		グローバル・マネジメント	4	2	50.0%	2	0	0.0%	2	0	0.0%	4	2	50.0%	441	40	9.1%
		企業評価とファイナンス	2	2	100.0%	2	2	100.0%	2	2	100.0%	2	2	100.0%	122	64	52.5%
		企業活動と会計情報	5	5	100.0%	4	4	100.0%	4	4	100.0%	5	5	100.0%	541	295	54.5%
		顧客満足とマーケティング	4	4	100.0%	4	4	100.0%	4	4	100.0%	8	7	87.5%	2302	1061	46.1%
		ビジネス・ソリューション	4	4	100.0%	4	4	100.0%	4	4	100.0%	4	4	100.0%	268	202	75.4%
		人的資源と知識創造	4	4	100.0%	4	4	100.0%	4	4	100.0%	4	4	100.0%	374	258	69.0%
I Tプロフェッショナル		5	5	100.0%	5	5	100.0%	5	5	100.0%	7	7	100.0%	248	195	78.6%	
寄付講座、特殊講義【新旧合併】			5			4			4		5					387	
外国書講読【なし】																	
スポーツ・ウェルネス・プログラム (SWP)			6			6			3		6						381
平成18年度までのカリキュラムの専門科目【希望実施】	系列別	経営		15		11			11		23			939(20)			
	会計		6		5			5		6			82(5)				
	経済		5		4			4		6			103(4)				
	商学		10		7			7		18			607(21)				
	情報管理		10		6			6		14			122(4)				
	外国書講読、共通科目		4		2			1		4			36(3)				
教養教育【希望実施】			2		2			2		3						117	
英語【希望実施】			16		6			4		25						766	
英語以外の外国語【希望実施】																	
保健体育(理論科目)【希望実施】																	
教職、司書・司書教諭、学芸員課程【希望実施】																	
指定した科目区分のみの合計			127	104	81.9%	105	82	78.1%	101	78	77.2%	169	140	82.8%	18306	9166	50.1%
全体の実施合計				184			136			126			252			12944(57)	

平成20年度学生による授業評価に関する報告

表4. 学部大学院別学生数

区分	年度	20		
		前期	後期	合計
一部		6308	6604	12912
二部		11	13	24
大学院		0	0	0
科目等履修生		0	0	0
不明		7	1	8
合計		6326	6618	12944

表5. 学部学科別学生数

学科	年度	20		
		前期	後期	合計
経営学科		5912	6389	12301
経済学科		102	33	135
国際経済学科		29	9	38
法律学科		0	6	6
政治学科		2	2	4
マーケティング学科		132	122	254
会計学科		12	3	15
日本語日本文学科		11	18	29
英語英米文学科		18	5	23
人文学科		9	5	14
心理学科		2	4	6
ネットワーク情報学科		87	17	104
その他		10	5	15
不明		0	0	0
合計		6326	6618	12944

表6. 学年別学生数

学年	年度	20		
		前期	後期	合計
1年		3024	2994	6018
2年		2527	2413	4940
3年		370	627	997
4年		308	481	789
5年		18	17	35
6年		6	5	11
7年		0	1	1
8年		2	0	2
その他		0	0	0
不明		71	80	151
合計		6326	6618	12944

表7. 性別学生数

性別	年度	20		
		前期	後期	合計
男		3910	3973	7883
女		1538	1696	3234
不明		878	949	1827
合計		6326	6618	12944

推移を示して過去と比較する必要性は無いと考えたからである。平成7年度のから平成18年度までの推移については、「平成18年度学生による授業評価報告書」（冊子版）に掲載されている。また、平成19年度の概要は「専修経営学論集 第87号」（平成20年11月）で報告している。

- 平成19年度カリキュラムから専門科目は系列ごとに区分するのではなく、入門科目、基礎演習科目、テーマなどの科目区分で表示することにした。
- 委員会として指定した科目区分については、指定した数に対する実施した割合が分かるようにした。ただし、履修登録が0人である授業は勘定に含めない。担当者が希望して実施する科目については、その科目と同じ区分の教員数、授業数、学生数は示さないことにした。
- 実施していない科目区分があるが、委員会として指定しなかったから

表 8. 授業評価の概要 全体 前期

質問項目	評価 有効回答中の比率					有効回答計 6,326中	平均値	
	5:適切	4	3:普通	2	1:不適切			
A	1.環境 (広さ・照明・冷暖房)	43.8%	19.5%	24.8%	7.5%	4.4%	6,301	3.9
	2.声の大きさ, マイクの使い方	48.1%	21.9%	22.2%	4.9%	2.8%	6,300	4.1
	3.話す速さ	36.0%	21.9%	29.8%	9.2%	3.3%	6,272	3.8
	4.板書の字の大きさ	36.4%	21.3%	31.8%	7.3%	3.2%	6,272	3.8
	5.板書の内容・量	30.2%	20.8%	37.0%	8.4%	3.5%	6,279	3.7
	6.授業の進行速度	30.1%	22.1%	33.8%	10.0%	3.9%	6,279	3.6
	7.授業の内容量	30.6%	22.5%	36.7%	7.7%	2.5%	6,286	3.7
	8.質問時間	26.8%	18.3%	45.0%	7.1%	2.8%	6,282	3.6
	9.質問応対	30.1%	19.4%	42.7%	5.4%	2.4%	6,263	3.7
	10.教科書・参考書の指示	27.2%	21.1%	41.6%	7.0%	3.1%	6,274	3.6
	11.配付資料	34.0%	24.8%	34.3%	4.8%	2.3%	6,268	3.8
	12.授業の開始・終了時刻	39.3%	23.1%	30.8%	4.8%	1.9%	6,275	3.9
	13.騒がしい学生に対する注意	37.7%	21.2%	31.9%	4.9%	4.3%	6,264	3.8
B		5:満足	4	3:普通	2	1:不満足		
	14.講義要項	29.7%	25.5%	33.0%	7.4%	4.4%	6,280	3.7
	15.講義要項に沿っている	33.7%	27.5%	35.2%	2.3%	1.2%	6,268	3.9
	16.授業理解度への工夫	30.2%	26.3%	34.1%	6.1%	3.3%	6,257	3.7
	17.授業内容	28.0%	26.0%	38.1%	5.0%	2.9%	6,251	3.7
18.授業レベル (高低)	5:高すぎる 11.7%	4:やや高い 27.4%	3:良い 56.9%	2:やや低い 2.9%	1:低すぎる 1.1%	6,252	3.5	
C		5:大いに	4	3:普通	2	1:しない		
	19.予習・復習	12.3%	14.6%	40.0%	13.2%	20.0%	6,275	2.9
	20.ノートをとる	37.3%	19.7%	30.1%	6.0%	6.9%	6,278	3.7
	21.関連文献・資料を読む	14.1%	16.6%	38.4%	14.0%	16.8%	6,260	3.0
	22.図書館の利用	8.6%	7.9%	28.5%	15.0%	40.0%	6,256	2.3
	23.私語をしない努力	41.6%	19.9%	30.8%	4.8%	2.9%	6,252	3.9
24.出席率	5:90~100% 63.1%	4:70~89% 22.8%	3:50~69% 11.9%	2:30~49% 1.5%	1:0~29% 0.6%	6,261	4.5	
D	総合評価	5:良い 37.3%	4 29.2%	3:普通 25.0%	2 5.0%	1:良くない 3.5%	6,023	3.9

注. 評価の適切から不適切までの有効回答中の比率は、小数第2位の値を四捨五入しているため、足しても100%に等しくない場合がある。

表 9. 授業評価の概要 全体 後期

質問項目	評価 有効回答中の比率					有効回答計 6,618中	平均値	
	5:適切	4	3:普通	2	1:不適切			
A	1.環境 (広さ・照明・冷暖房)	42.2%	20.4%	26.9%	7.2%	3.3%	6,588	3.9
	2.声の大きさ, マイクの使い方	45.6%	22.7%	23.4%	5.2%	3.1%	6,588	4.0
	3.話す速さ	35.2%	23.2%	31.0%	8.0%	2.6%	6,573	3.8
	4.板書の字の大きさ	35.2%	22.4%	30.7%	7.6%	4.1%	6,573	3.8
	5.板書の内容・量	30.4%	22.2%	34.5%	8.8%	4.1%	6,579	3.7
	6.授業の進行速度	29.0%	22.9%	35.8%	9.1%	3.3%	6,583	3.7
	7.授業の内容量	30.0%	23.1%	37.1%	7.2%	2.6%	6,566	3.7
	8.質問時間	27.5%	18.2%	44.7%	7.0%	2.5%	6,570	3.6
	9.質問応対	29.4%	19.8%	43.2%	5.4%	2.3%	6,565	3.7
	10.教科書・参考書の指示	27.3%	21.1%	41.2%	7.4%	3.0%	6,560	3.6
	11.配付資料	33.6%	25.0%	33.8%	5.2%	2.5%	6,563	3.8
	12.授業の開始・終了時刻	36.6%	22.3%	30.1%	7.0%	4.1%	6,561	3.8
	13.騒がしい学生に対する注意	37.9%	23.5%	31.5%	4.7%	2.5%	6,549	3.9
B		5:満足	4	3:普通	2	1:不満足		
	14.講義要項	28.3%	25.4%	34.7%	7.6%	4.0%	6,566	3.7
	15.講義要項に沿っている	32.5%	27.7%	35.3%	3.0%	1.5%	6,563	3.9
	16.授業理解度への工夫	30.3%	26.7%	33.8%	5.9%	3.2%	6,554	3.8
	17.授業内容	27.5%	25.3%	39.5%	5.0%	2.7%	6,548	3.7
18.授業レベル (高低)	5:高すぎる 10.2%	4:やや高い 27.0%	3:良い 58.2%	2:やや低い 3.4%	1:低すぎる 1.1%	6,528	3.4	
C		大いに		普通		しない		
	19.予習・復習	10.8%	14.7%	43.9%	11.7%	18.9%	6,563	2.9
	20.ノートをとる	36.0%	21.1%	31.4%	6.0%	5.5%	6,561	3.8
	21.関連文献・資料を読む	13.0%	16.8%	41.3%	12.6%	16.3%	6,554	3.0
	22.図書館の利用	7.7%	9.4%	32.0%	14.6%	36.3%	6,550	2.4
	23.私語をしない努力	41.2%	19.8%	32.3%	4.2%	2.5%	6,548	3.9
	24.出席率	5:90~100% 58.0%	4:70~89% 27.2%	3:50~69% 12.8%	2:30~49% 1.5%	1:0~29% 0.4%	6,562	4.4
D		5:良い	4	3:普通	2	1:良くない		
	総合評価	37.0%	28.7%	25.3%	5.6%	3.4%	6,326	3.9

注. 評価の適切から不適切までの有効回答中の比率は、小数第2位の値を四捨五入しているため、足しても100%に等しくならない場合がある。

であり、教員から協力が得られなかったわけではない。むしろ、予算が限られた状況で前期・後期に実施し、新しい専門のカリキュラムの科目を評価するために、委員会として遠慮していただいたのである。

5. 合併科目については、複数の科目それぞれについて科目コードを割り当てているため、間違ったコードをマークしたり、コードの記入が無かったりすると、どの科目のものか判別ができない。科目が判別できないカードの数は平成18年度までのカリキュラムの科目の実施数に含めて、内訳を示した。さらに、コードの区別を教員が指示しなかったために、2科目を同一科目と見なして処理した組み合わせが5つある。

5. 授業評価の概要

平成19年度の報告と同様に、分析までは述べないが、前期（表8）と後期（表9）それぞれの全体の授業評価の概要を掲載しておく。

6. 授業評価の実施および集計作業に関する課題

平成20年度については、前期末に実施した授業評価の集計結果を、後期の開始時に各教員に返却した。平成19年度は後期の結果を委員会が科目ごとに集計したため、新年度開始時に教員に返すことができなかったが、この度は間に合わせることができた。これは予算が増えたことと、費用の見直しを業者に求めたことによる。新しいカリキュラムについての評価を行うには、入門科目、基礎演習科目、テーマなどに分けた評価概要が必要になる。しかし、まだ予算が十分でないため、現在のところ業者に依頼している図表の作成以上のことはできない。新しいカリキュラムの完成年度を迎える平成22年度は、予算の増額が必要である。

また、新旧の科目を合併開講している場合、それぞれについて科目コードを割り当てているため、「4. 授業評価実施教員および回答者の概要 5」で述べたような混乱が起きている。これについては、委員会として今後対策を考えなければならない。